

やえかし ひろふみ
八重樫 浩文 の経歴

1964年(昭和39年)1月2日生 59歳

防災士 (2021年1月資格取得)

北上市飯豊出身、北上市立飯豊小・中学校卒業

1982年 3月 岩手県立黒沢尻北高等学校卒業

1986年 3月 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業

1986年 4月 岩手県職員(総務部地方振興課=現ふるさと振興部市町村課)

以降、企業立地課、(財)地域活性化センター出向、人事課、

情報科学課、宮古市出向、全国知事会事務局出向等を経て、

2009年 4月 県南広域振興局総務部 特命課長(振興局再編担当)

2010年 4月 商工労働観光部 産業経済交流課 海外マーケット担当課長

2012年 6月 秘書広報室 調査監

2015年 4月 秘書広報室 秘書課総括課長

2017年 4月 商工労働観光部 雇用対策・労働室長

2019年 4月 県議会事務局次長

2021年 4月 企業局次長

2022年 4月 沿岸広域振興局長

同年12月末日 岩手県退職

※この間、岩手女子高等学校PTA会長(2010~2011年度)等も務めた。

八重樫ひろふみ
後援会事務所

〒024-0094 岩手県北上市本通り三丁目2番51号

TEL. 0197-72-6270

FAX. 0197-72-6280

E-mail. yae.hiro.kitakami@gmail.com

URL: <https://yae-hiro.info>



**八重樫
ひろふみ**

八重樫ひろふみ
オフィシャルサイト



ごあいさつ



「住みよい北上の良さをもーっと伸ばして、
ずっと住みたい北上にしていきたい。」

北上市は、これまで市民参画・協働により、住
みよくて持続可能なまちづくりを進めてきました。
この流れをしっかり受け継ぎながら、一方では
様々な環境の変化にも対応し、さらに住みた
くなる北上の実現に向けて、市内各地域の活性化
を図りたいと考えます。

このため、コロナ禍が3年以上も続き物価高も
深刻な中、いまだ暮らしや経済に影を落としている
現況をいち早く改善して、市民の心に響くよう
な市政を推進したい、そして市民が心強くなるよう
な「活力あふれる北上」、行政サービスが行き
届いて心安らかに暮らせるような「優しい北上」、
心楽しく「笑顔いっぱいの北上」の実現に向けて
まい進したいと考えております。

市民の皆さん、ぜひ御一緒に、住みよい北上を
もっと住みたい北上にしていきましょう。

八重樫ひろふみが目指す
北上市のビジョン

心強く 活力あふれる北上

心安らかで 優しい北上

心楽しく 笑顔いっぱいの北上

八重樫ひろふみ のプロフィール

住まい

北上市飯豊に、両親・妻・長男夫婦・孫娘との7人家族



◀八重樫長兵衛(祖父)銅像前
浩文の祖父:長兵衛氏(旧北上市第2代市長)は、現在キオクシア岩手等が立地する北上工業団地の整備を、当時の市町村事業の先駆けとして推進した。

座右の銘

和をもって貴しとなす(但し)和して同ぜず

モットー

人の話をよく聞く

趣味

スポーツ観戦…学生時代のラグビー早慶・早明戦、東京六大学野球に始まり、サッカー、バスケット、バレー、ハンドボールなど。

登山…黒沢尻北高では山岳部に所属。3年時の岩手県高総体では3位に入賞しました。近年は妻と県内の低山に登っています。

温泉めぐり…夏油高原いで湯ラインも好きで、蕎麦とセットで楽しんでいます。

カラオケ…コロナ禍でなかなか歌う機会がありませんが、新沼謙治さんやNSP・あんべ光俊さんなど、岩手ゆかりの方の歌が大好きです。



政策形成の四つの視点

ひと

未来に輝く、
未来を創る人づくり。

暮らし

生きる喜びと生涯安心の
暮らしをサポート。

なりわい

挑戦する心を原動力とし
た力強い地域経済の創出。

しくみ

市民参画・協働の深化と
それを支えるしくみづくり。

特に若者・女性が生き生きと
活躍できる環境づくり

1 コロナ禍及び物価高騰に
対する地域経済・暮らしへの
支援

妊娠・出産・子育ての
経済的負担の軽減

3 DX促進等による農林商工
業振興、担い手確保・人材
育成

若者等の地元定着、
子育て世代等のUIJ
ターンの強化

5 街なかマルシェ等による
中心市街地への誘客・
活力誘導

市内各地域が
元気になるための
積極的支援

7 広域連携・地域間交流
の一層の推進(交通・物
流・環境など)

8 教育・芸術文化・スキー
ツの振興及び多文化
共生の促進

八重樫ひろふみ
の優先的取組



多文化共生：国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと